

令和6年 アユ釣獲試験結果

九頭竜川(勝原)・南川(名田庄)



九頭竜川 (勝原園地から約500m上流)



南川 (ひのくち橋上流)

福井県内水面総合センター
橋本 寛

これまでの経過

???センター産アユは本当に釣れるのか???

令和4年

- ・九頭竜川上流(大野市勝原)にセンター産アユ種苗(F-1)を放流し、成長や生残状況を確認
 - ⇒ しっかり成長し、ちゃんと釣れました。
 - ⇒ 流されずに生き残っていました。
 - ⇒ 概ね合格点をいただきました。



令和5年

- ・前年と同じ場所にセンター産アユ種苗(F-1とF-2)を放流し、それぞれの成長や生残状況を比較
 - ⇒ しっかり成長し、ちゃんと釣れました。
 - ⇒ F-1とF-2の間には、成長や生残、釣れ具合に大きな差はありませんでした。



- ・他河川で同様の試験を実施してはどうか？
- ・同じ場所で試験をするなら、釣獲試験の範囲をもう少し上流まで広げてはどうか？

そして今年！

九頭竜川(勝原)

- ・センター産アユ種苗(F-1とF-2)を放流し、釣獲試験により採捕したアユの由来を判別するとともに、成長や生残状況を確認する。
- ・これまでよりも上流まで試験区を拡大し、遡上状況を確認する。

<試験方法>

放流から概ね1か月毎に釣獲試験を実施
放流地点から上流約1km地点でも試験を実施
最終的には網により捕獲

ちなみに…

両河川ともに、天然遡上魚も放流魚もない漁場を選定
(センター産種苗のみ存在)



初めて♪

南川(名田庄)

- ・センター産アユ種苗(F-1)を放流し、釣獲試験により採捕したアユの由来を判別するとともに、成長や生残状況を確認する。

<試験方法>

ランダムに釣獲試験を実施
最終的には網により捕獲



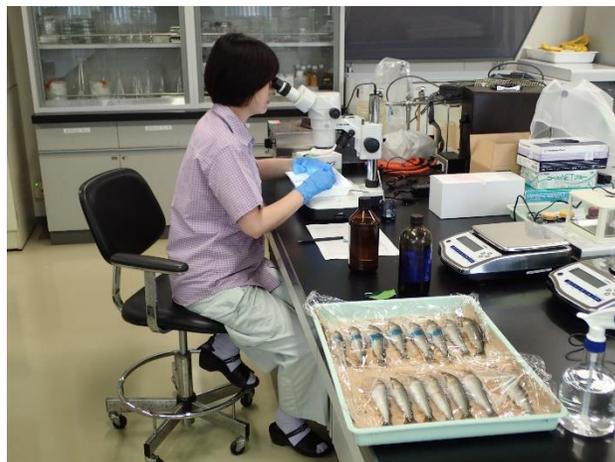
南川(中野橋)での放流風景

由来判別 (下顎側線孔、側線上方横列鱗数)

八王子浅川フィッシングクラブHPより引用



岐阜県水産研究所HPより引用



九頭竜川



放流状況

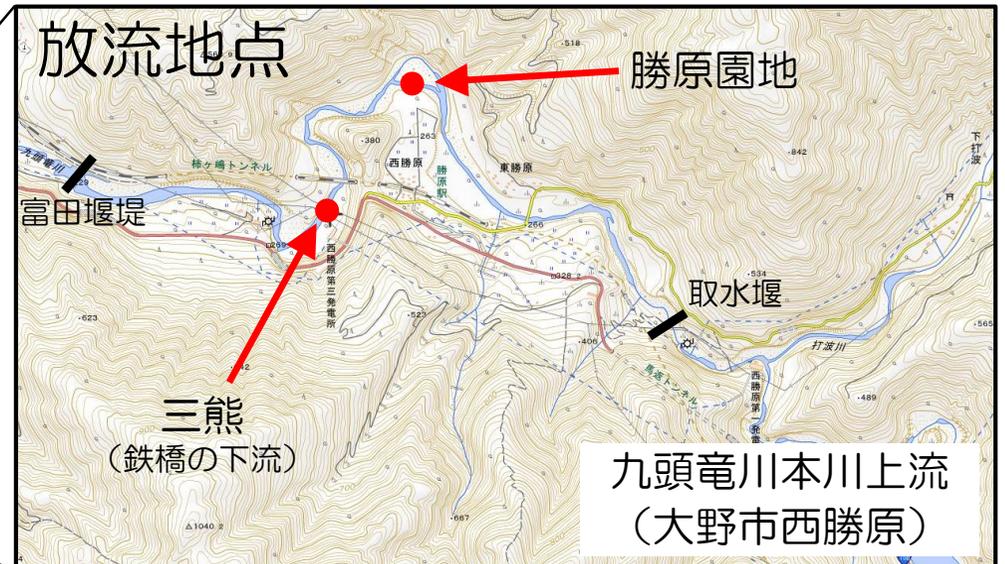
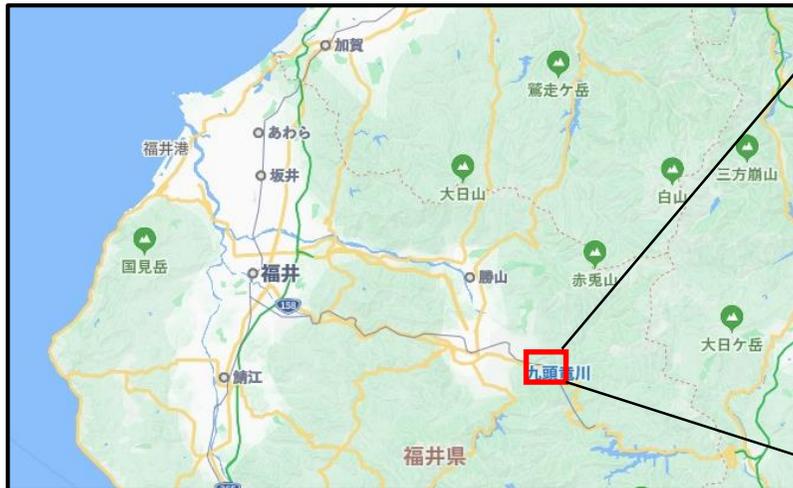
(九頭竜川)

供試魚および放流日

年	放流種苗	放流量	平均体重	平均全長	放流日	備考
R6	F-1 (天然♀×天然♂)	50.7kg	12.1g (7.5~16.8)	11.3cm (9.9~133.4)	R6.6.6	F-1種苗は 脂鰭を切除
	F-2 (F-1♀×F-1♂)	51.2kg	8.4g (5.5~13.0)	10.3cm (8.8~11.7)		

放流場所

両種苗混在のものを目分量で二等分し、
2か所で放流



結果①

(九頭竜川)

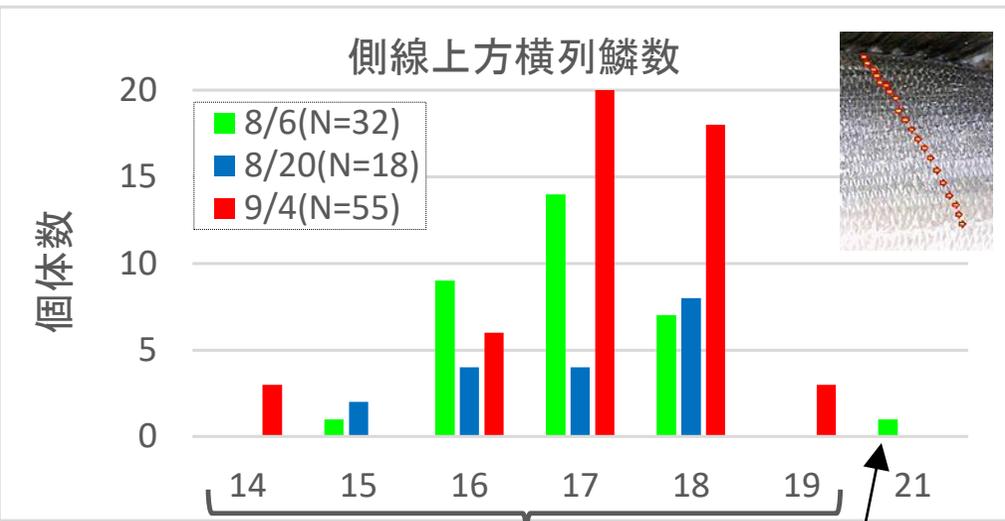
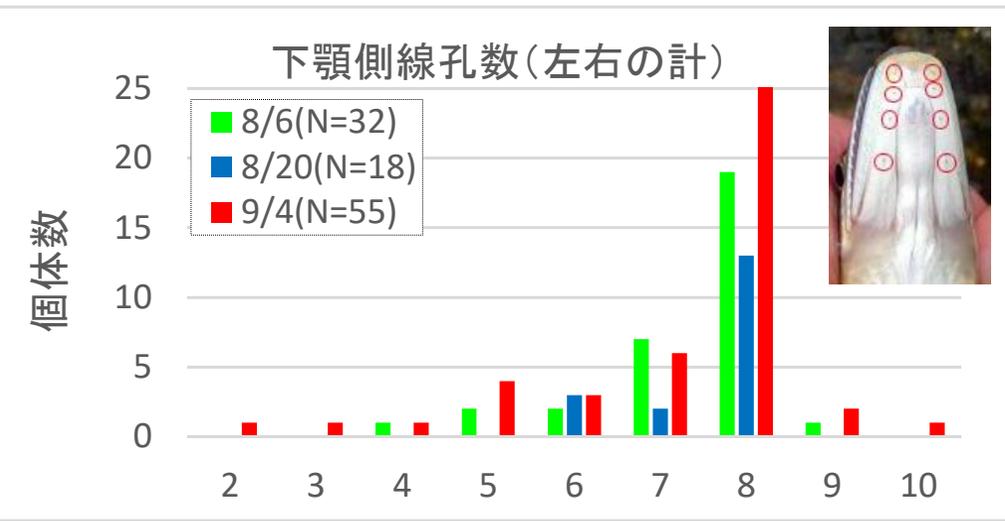
項目\試験日	8月6日	8月20日	9月4日	
放流後	61日	75日	90日	
漁法	友釣り	友釣り	友釣り	網
人数	5人	6人	1人	5人
時間 (延べ釣獲時間※)	1.5～2.5時間 (9時間)	2～3時間 (13時間)	4.5時間 (4.5時間)	—
採捕尾数 (F-1) (F-2)	42尾 (18尾) (14尾)	19尾 (7尾) (12尾)	15尾 (5尾) (10尾)	69尾 (27尾) (42尾)
1人1時間 あたり	0.93尾 (0.67～9.60)	0.24尾 (0.00～3.50)	3.33尾	—
水温	22.8℃	22.0～24.0℃	21.0℃	
その他	10尾ロスト (由来等不明)	1尾ロスト (脂鰭なし；F-1)		測定用サン プルは40尾

※：人数×釣獲時間

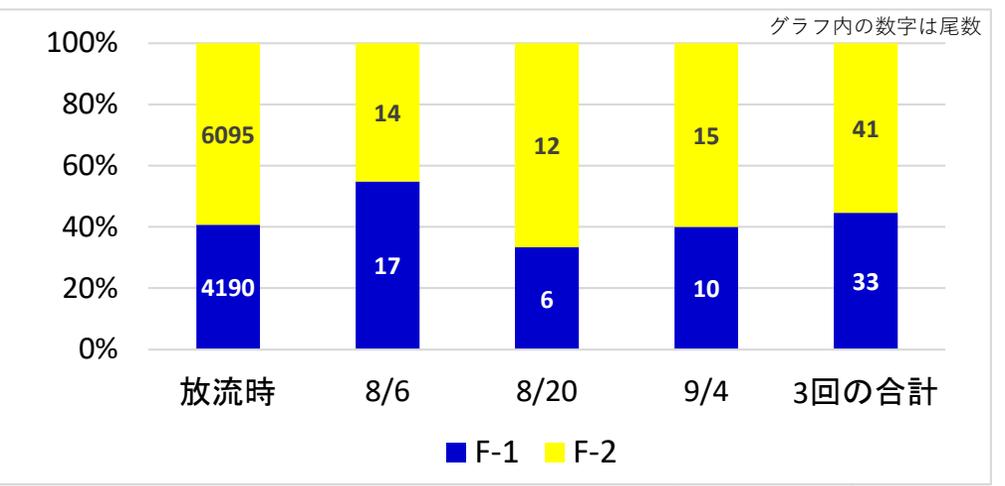
結果②

(九頭竜川)

採捕アユの由来



F-1とF-2の釣獲割合



※9/4は網サンプルを除く

人工産 (センター産) 琵琶湖産?

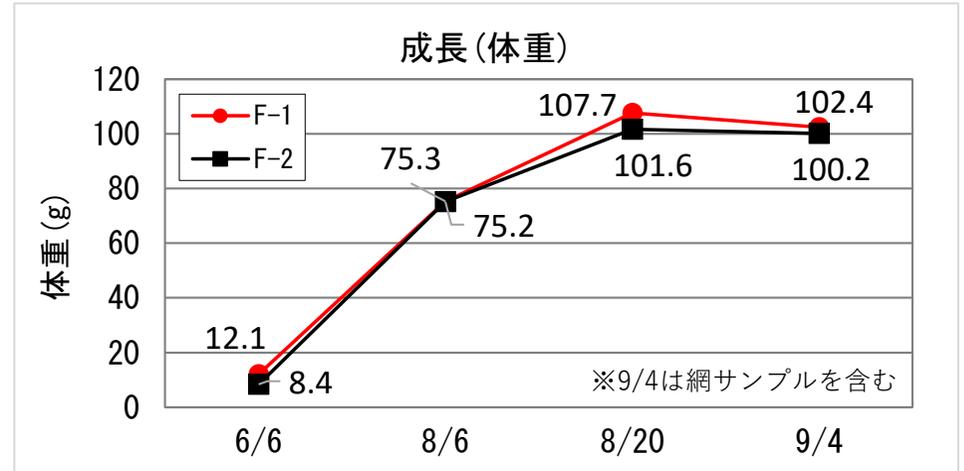
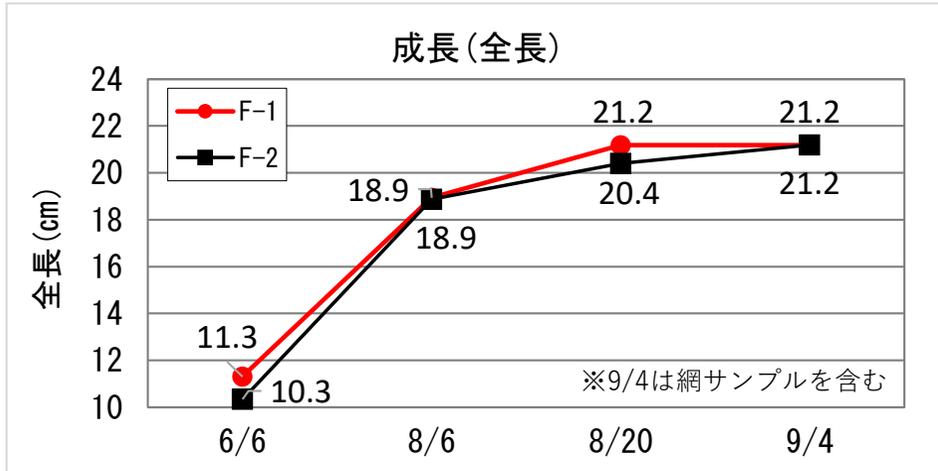
由来判別の結果、採捕したアユは1尾を除き、海産系人工産(センター産)と推測されました。(8/6の1尾はオトリ混入?)

試験期間中、F-2のほうが多く釣れる日が多かったですが、両者に大きな違いはありませんでした。(統計的に有意差なし)

結果③

(九頭竜川)

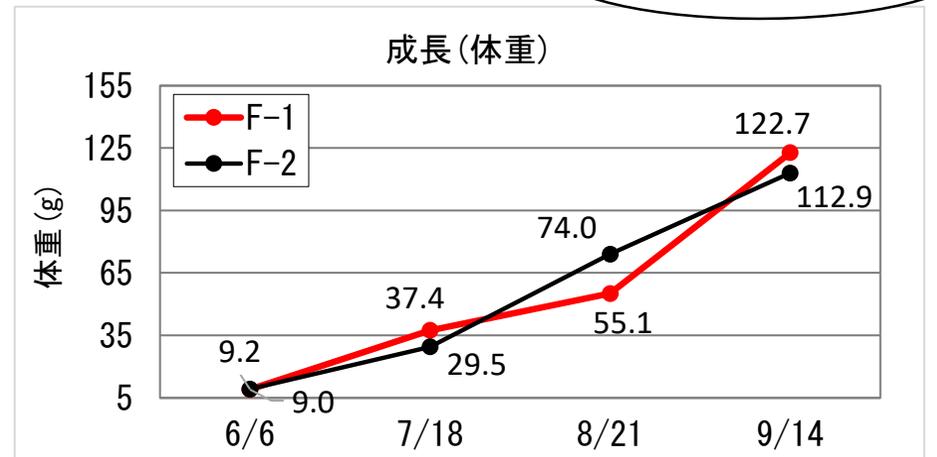
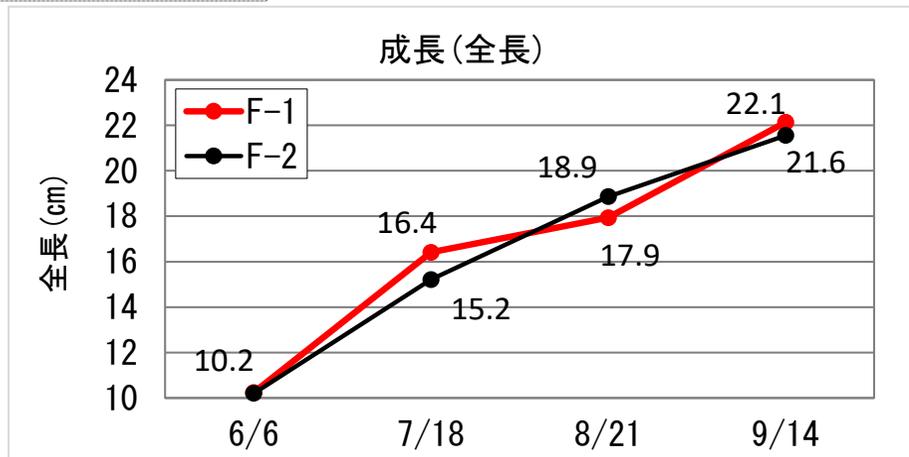
採捕アユの成長(F-1とF-2の比較)



F-1とF-2の間には、成長に大きな差はありませんでした。

ちなみに去年

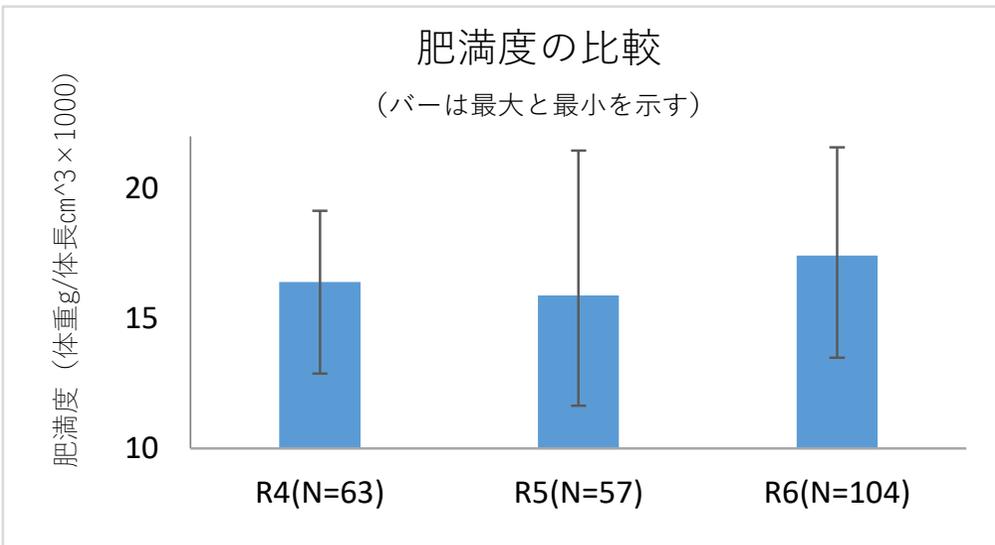
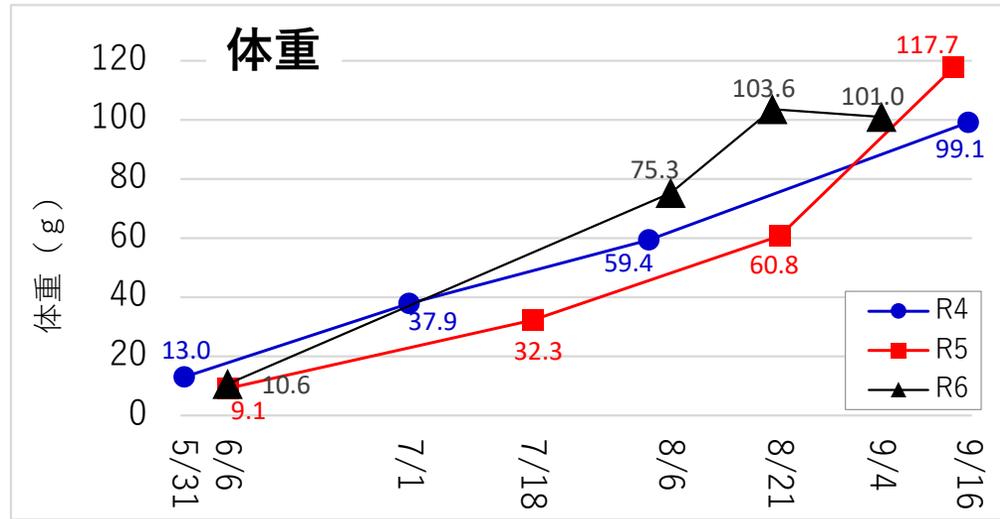
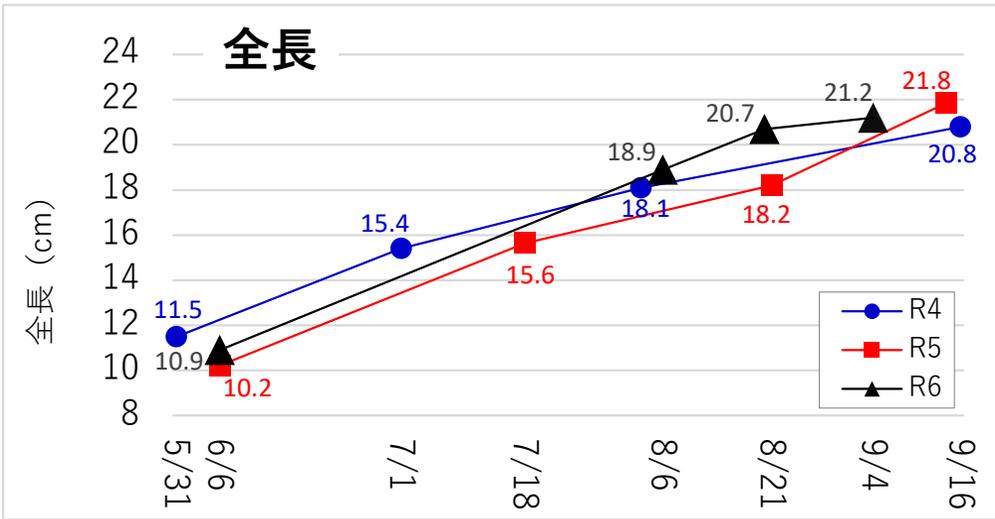
去年と同じ結果



結果④

(九頭竜川)

採捕アユの成長(過去との比較)



放流から2ヵ月経過した頃には、過去2年を上回る成長が確認できました。

今年のアユは、過去2年のアユと比較して丸々と太っていました。



- ※グラフのデータ
- ・人工産のみ
 - ・F-1とF-2の合計
 - ・網サンプルを含む

結果まとめ

(九頭竜川)

- 採捕したアユは1尾を除き、全て海産系人工産(センター産)と推定されました。
⇒ センター産アユは今年もしっかりと生き残り、ちゃんと釣れました。



- F-1とF-2の間には、成長や釣れ具合に大きな差はありませんでした。
⇒ 去年と同じ結果になりました。

- 過去2年と比較すると、今年はとくに成長が良かったです。
⇒ 肥満度が高いのが特徴的でした。
⇒ 去年よりも水温が1~2°C高かったから？

今年もお世話になりました、
ありがとうございました。

- 放流場所から1km程度上流でも採捕されました。
⇒ しっかりと遡上していました。



南川



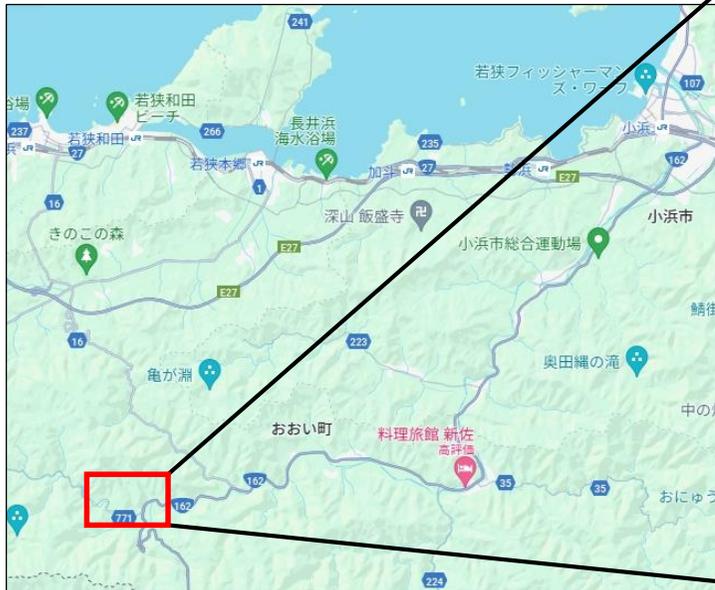
放流状況

(南川)

供試魚および放流日

年	放流種苗	放流量	平均体重	平均全長	放流日	備考
R6	F-1 (天然♀×天然♂)	25kg	9.7g (5.8~16.2)	10.6cm (9.0~13.0)	R6.4.16	
	F-1 (天然♀×天然♂)	76kg	12.1g (7.5~16.8)	11.3cm (9.9~13.3)	R6.6.7	

放流場所



放流地点



結果①

(南川)

月日		釣り人	漁法	時間	採捕尾数	CPUE※	水温(°C)
6月	23日	Aさん	友釣り	5.0	0	0.0	19
	23日	Bさん	友釣り	5.0	0	0.0	19
	27日	Cさん	友釣り	3.0	11	3.7	19
	30日	Dさん	友釣り	3.0	4	1.3	19
7月	14日	Dさん	友釣り	2.5	1	0.4	21
	21日	Aさん	友釣り	4.5	3	0.7	21
	21日	Bさん	友釣り	4.5	3	0.7	21
	30日	Cさん	友釣り	4.0	6	1.5	26
8月	3日	Aさん	友釣り	4.0	1	0.3	25
	3日	Dさん	友釣り	4.0	7	1.8	25
	26日	Cさん	友釣り	4.0	4	1.0	26
	30日	Eさん	投網	3.0	9	—	27
9月	18日	Eさん	投網	3.0	25	—	28
	24日	Eさん	投網	3.0	20	—	?

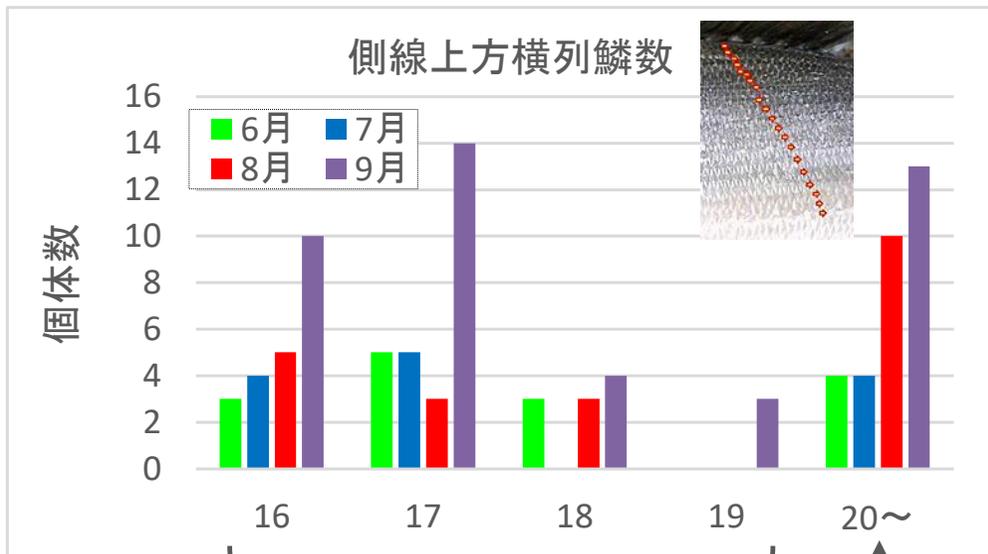
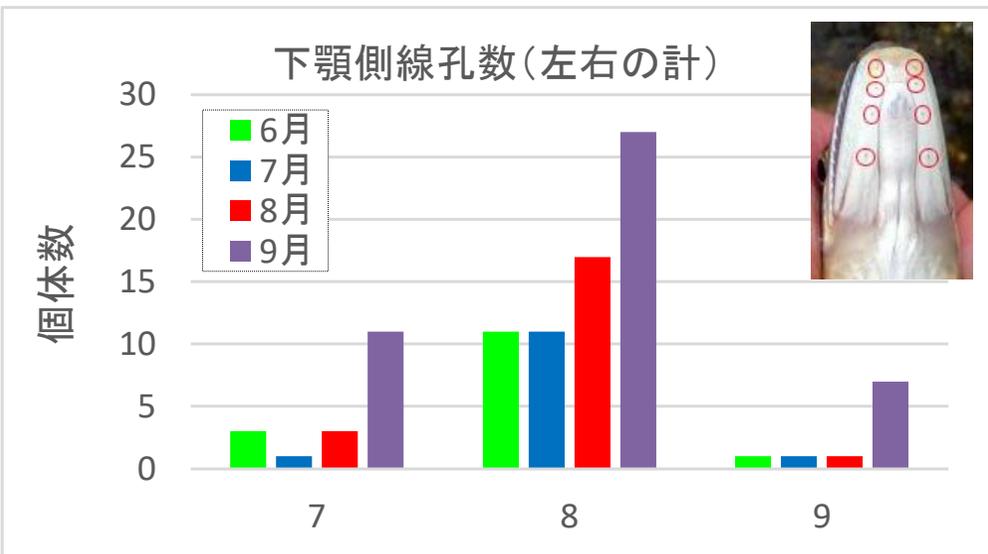
6～9月に5名で延べ14回実施（友釣り、投網）

※：1人1時間あたりの採捕尾数

結果②

(南川)

採捕アユの由来



月	漁法	サンプル数	産別	
			(人工産)	(その他)
6月	友釣り	15	(11)	(4)
7月	友釣り	13	(9)	(4)
8月	友釣り	12	(6)	(6)
	投網	9	(5)	(4)
9月	投網	45	(32)	(13)
合計		94	(63)	(31)

人工産 (センター産) 天然?

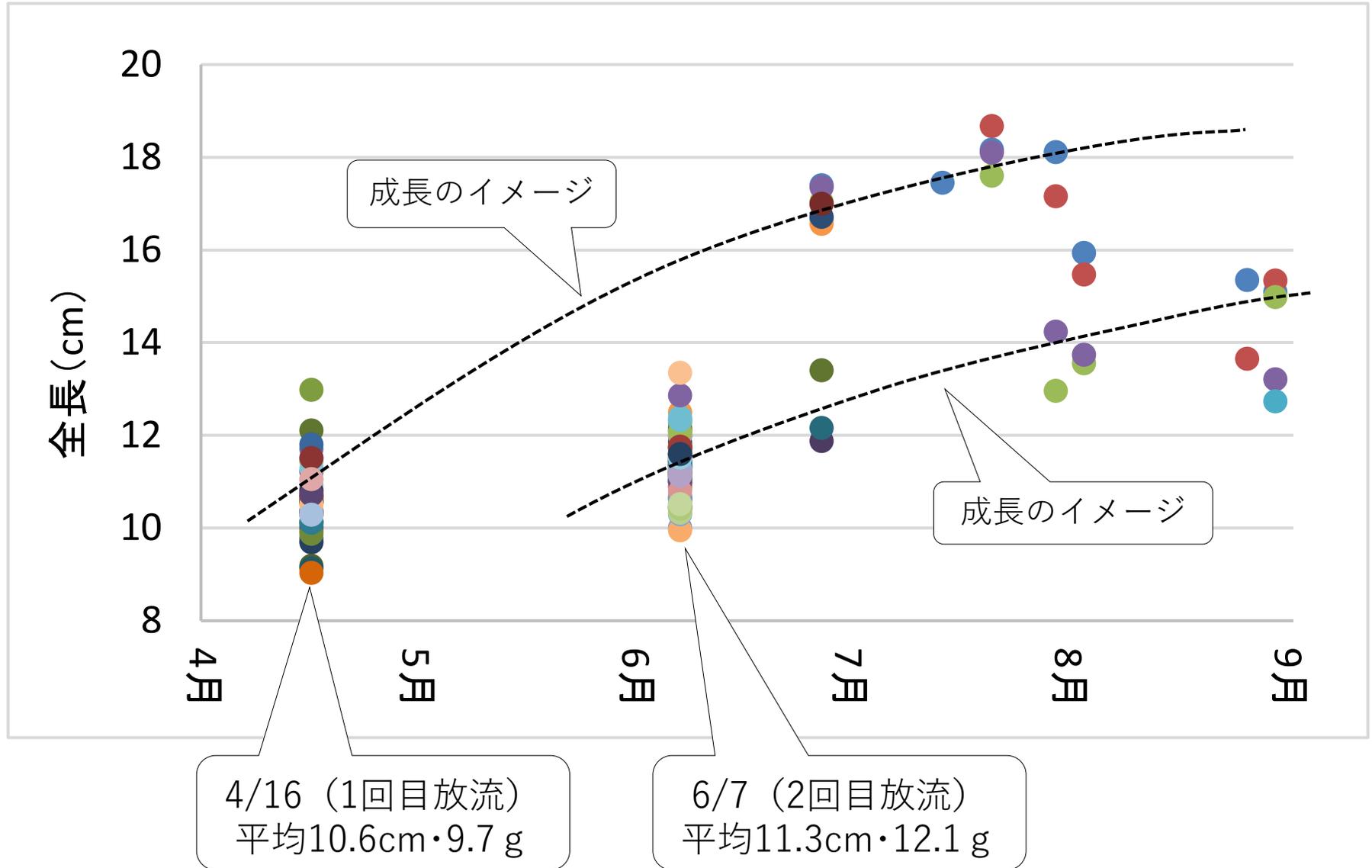
由来判別の結果、採捕した94尾のうち、海産系人工産(センター産)は63尾と推定されました。

その他のものは天然魚だと思われました。

結果③

(南川)

採捕アユの成長(投網サンプル除く)

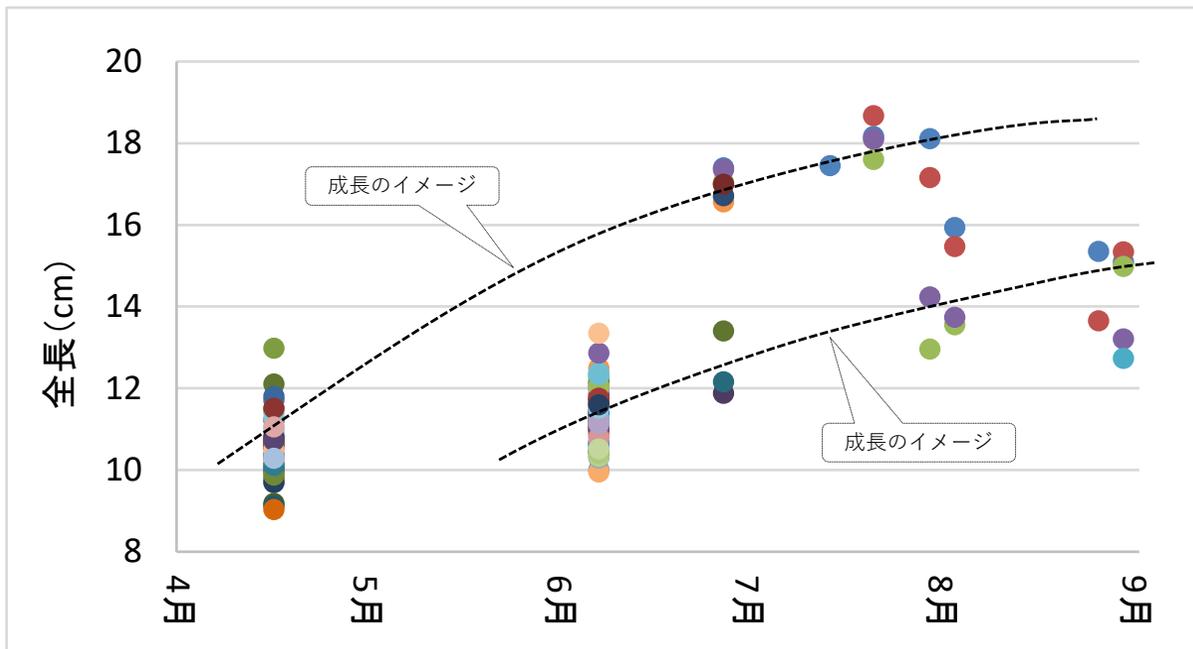


結果④

(南川)

採捕アユの成長(日間成長量の比較)

放流日	期間	全長	体重
4/16放流群	4/16~7/21 (96日間)	0.08cm/日	0.39g/日
6/7放流群	6/7~8/30 (84日間)	0.05cm/日	0.18g/日



4/16放流群のほうが6/7放流群よりも成長が良い



早期に放流したほうが成長は良いかも??



結果まとめ

(南川)

- 初めて実施しましたが、無事に試験を終えることができました。
⇒ 若狭河川漁業協同組合の皆様、ありがとうございました。
- 採捕したアユは全部で94尾で、そのうち63尾が海産系人工産(センター産)と推定されました。
⇒ 南川上流でもセンター産アユはしっかりと生き残り、ちゃんと釣れました。
- 2回に分けて放流しましたが、早期に放流したほうが成長が良い結果となりました。
⇒ あまり遅くに放流しても成長は見込めない？
- 汲み上げ放流の影響で、試験区に天然と思われるアユが混在していました。
• 初めての試験ということもあり、放流量が多すぎたかもしれません。
⇒ 次回までの宿題です。



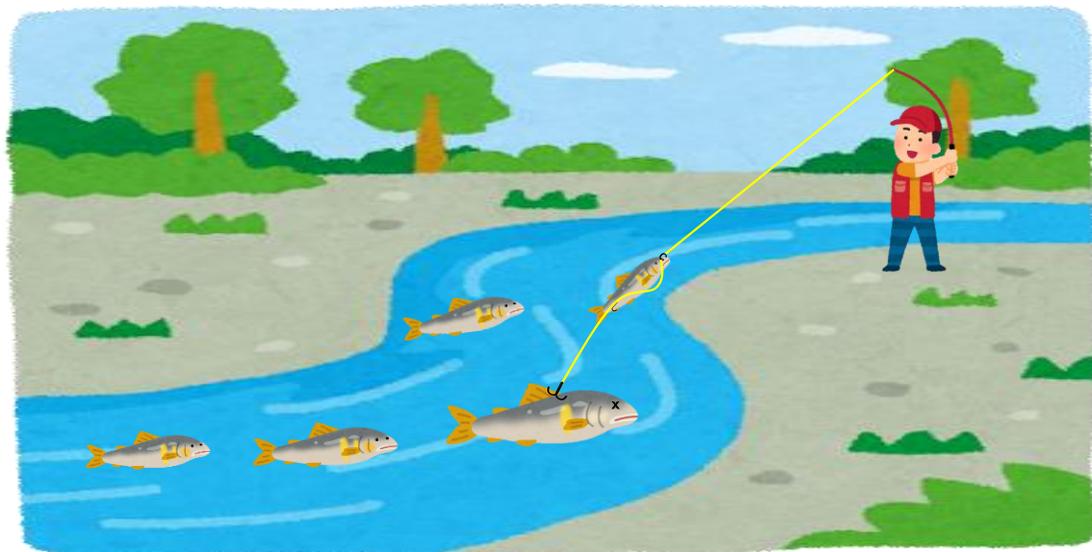
ちょっと想定外

ちょっと過密？

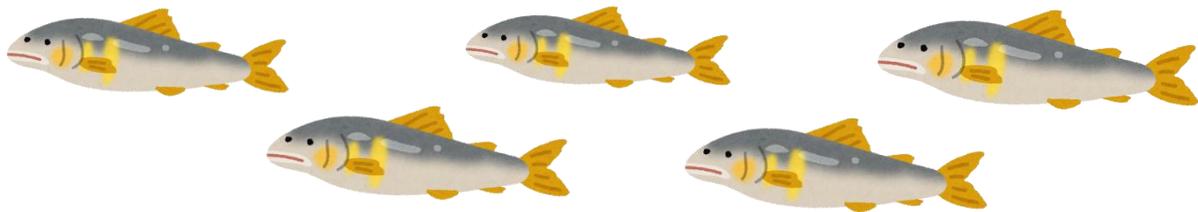
来年の計画

皆さまのご意見やご要望を聞かせてください

- ・ 放流場所
 - ・ 放流種苗
 - ・ 試験方法
- などなど



ご清聴



ありがとうございました

